

能舞やそばなどあべらの魅力を体験！

～あべら(田屋)雪まつり～



村内外から多数の方が参加しました

2月26日(日)、上田屋地区において、『あべら(田屋)雪まつり』(主催 下北地域コラボマネージャー、下北地域県民局地域農林水産部)が開催されました。

そば処田や、あべらベリリー、上田屋青年会、上田屋子ども育成会など、上田屋地区の各団体が協力して、東通そばをはじめとする温かい食事の提供や上田屋の能舞の楽器や衣装に触れられる能舞体験、雪遊びなどの各種イベントが行われ、村内外より約120名が参加しました。

「能舞の館たや」で行われた能舞体験では、太鼓や鐘、



能舞の衣装や楽器に触れて大喜び！

笛などの楽器、扇子や刀、面などに自由に触れることができ、子ども達は普段見慣れない珍しいものの数々に興味津々な様子でした。

その後、会場を「旧田屋小中学校グラウンド」に移し、雪遊びが行われました。時折、雪が強く降る悪天候のため、当初予定していたかまくら・ミニ灯笼作りは中止となりましたが、子ども達は、元気いっぱい雪山を往復してそりを走らせ、また、新しくできた友達とかくれんぼやかかけっこをするなど、広い場所ならではの雪遊びを楽しんでいました。

地域・世代を超えて繰り広げられた熱戦！

～東通ライオンズクラブ主催 第1回ゴニンカン大会～

2月26日(日)、蒲野沢地区「山あいの里」を会場に、第1回ゴニンカン大会(主催 東通ライオンズクラブ)が開催されました。

ゴニンカンとは江戸時代に長崎に伝わったトランプゲームで、江戸時代末期に幕府に禁止され廃れていきましたが、津軽藩では規制が強く行われなかったため津軽地方を中心に根強く残り、当村でも古くから親しまれてきたゲームです。また、最近では競技人口も拡大し、五所川原市では毎年1月に世界大会が開催されています。

これまで、各地区の有志が蒲野沢地区に集まりゴニンカンを楽しんでいましたが、公式ルールの周知やプレイヤーの技術向上を図り、五所川原市で開催される世界大会への出場を目標に、本大会が開催されました。

大会には60名が参加。参加者は、初めて対戦する相手や、普段とは異なるルールに



参加者は真剣な表情でゴニンカンを楽しみました

戸惑いながらもゲームを楽しんでいました。

本大会を主催した東通ライオンズクラブは「今回は初めての開催でしたが、参加者にも好評で何より。大会を重ねてゴニンカンを広め、世界大会への出場を目指したい」と今後の意気込みを語っていました。